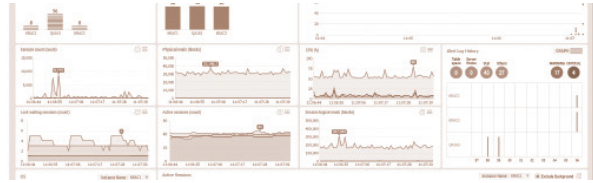


Newバージョンリリース

洗練されたインターフェースとパワフルな分析機能

MaxGauge for Oracle



製品概要

Oracleデータベースの稼働状況を、24時間365日リアルタイムでセッション、SQLの明細も記録するため、詳細な調査とともに、突発的なトラブルもたとえ事後でも確実に状況把握ができます。またGUIにより、「何時・何分・何秒」に、何が起こっていたかを自由自在に分析することが可能となります。

特徴

軽い

Oracleに
負荷をかけず
情報収集

SGA(システムグローバルエリア)ダイレクトアクセスで
最短0.01秒間隔で情報収集

詳細

Oracleの情報を
『洩れなく』収集

OS・性能・待機指標など
約1,200もの項目を収集

簡単

障害原因を
即座に特定

論理的解析を実現する
ドリルダウン機能、
直感的に以上を察知する多様なグラフ

トラブルに対し柔軟に対応。

『安定運用』『コスト削減』『スピードアップ』を実現

情報取得間隔	OS指標・性能指標・待機指標	セッションの稼働情報	実行SQLテキスト
1分間隔	1分間隔	1秒間隔	0.05秒間隔(最短0.01秒間隔)

機能

リアルタイム分析機能 リソースピーク区間監視『リアルタイム診断』を同時に

『Real-Time Diagnostics』は、リソースピーク区間の最後の10分間のデータにリアルタイムで発見された問題を迅速に診断する機能を提供しています。

アラート機能 待機イベントステータスの集中的な監視

『Real-Time アラート発生履歴も分かりやすく掲載している』ので、いつ・どのようなタイミングで問題が発生したかすぐに確認・分析することが可能です。

事後分析機能 『Real-Time 障害やパフォーマンス低下の原因を追及する際、その時点でのシステム全体の状態把握から、その状態を引き起こしていた「個々」のセッション情報へ、シームレスに分析できるのが理想的。しかし他の多くのツールは、システム全体の状態と個々のセッションの情報の結びつきを連携して分析できません。MaxGaugeは、「システム全体」→「セッション」→「SQL」と理想的な分析の流れをスムーズに実現します。



- リアルタイム指標
- 監視セッション詳細分析
- 実行SQL、実行計画、トラッキング
- 長時間SQLピックアップ
- ユーザー画面カスタマイズ機能



- 指標監視(OS, STAT, EVENT)
- アラートログ監視
- 表領域監視



- 1 Dayサマリー分析
- ホットスポット分析
- データベース分析
- キャパシティ分析
- モジュール比較分析
- SQL分析
- セッション詳細分析
- 処理トップ分析
(SQL、スキーマ、プログラム、モジュール)
- セッション履歴分析
- SQL履歴分析

販売価格

個別見積

商品番号 1001948 MaxGauge for Oracle